

2021年10月8日

東京学芸大学 文部科学省委託「高等学校における日本語指導体制整備事業」2021

企画開発会議調査部会 第5回ヒアリング資料

三重県立飯野高等学校（全日制）

# 三重県立飯野高等学校 （全日制） 報告

# 三重県立飯野高等学校



## 【教育方針】

- 生徒それぞれが信頼される社会人としての基本を身につけている学校
- 個々の生徒の実践力と学力を両立させる学校
- 生徒の可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育成する学校

## 【学科】

応用デザイン科（定員 80 名）

英語コミュニケーション科

（定員 80 名）



# 三重県立飯野高等学校



## 【コースの特徴】

### ◆応用デザイン科

1年生で美術とデザインの基礎学習

2年生から「ビジュアルデザイン」「服飾デザイン」「美術（油彩画・日本画・彫刻）」のコースに分かれて専門的な学習を行う。

1年生、2年生の作品展をはじめ、3年間の総まとめとしてファッションショー（服飾デザイン）と卒業制作展を行います。また各学年で素描(デッサン)の力を育成し、英語等の一般教科の学習とあわせて、積極的に美大進学をバックアップします。国公立や難関私立大へ多くの生徒が進学し活躍しています。

# 三重県立飯野高等学校



## 【コースの特徴】

### ◆英語コミュニケーション科

1年生で英語の基礎学習

2年生からA・Bコースに分かれ、多様な英語に触れ、英語を自由に使えることを目標に学習を行う。

3年生では英語学習の成果として、自分で決めたテーマに沿って英語で発表を行います。全ての英語の授業を少人数講座で行っており、4技能（読む・聴く・書く・話す）をバランスよく学習できる授業内容となっています。

常駐する2名のALTとのチームティーチングによる英会話や、リスニングの授業も充実しています。また、進路希望に応じたコース制のカリキュラムにより、四年制大学の外国語学部をはじめ、幅広い文系学部への進学実績をあげています。

平成20年 外国人生徒教育のため加配

平成22年 外国人生徒支援担当 確立

在籍学級・講座 … 親クラス

支援講座 … 取り出し

平成28年 国際サポート担当 確立

在籍学級・講座 … S講座

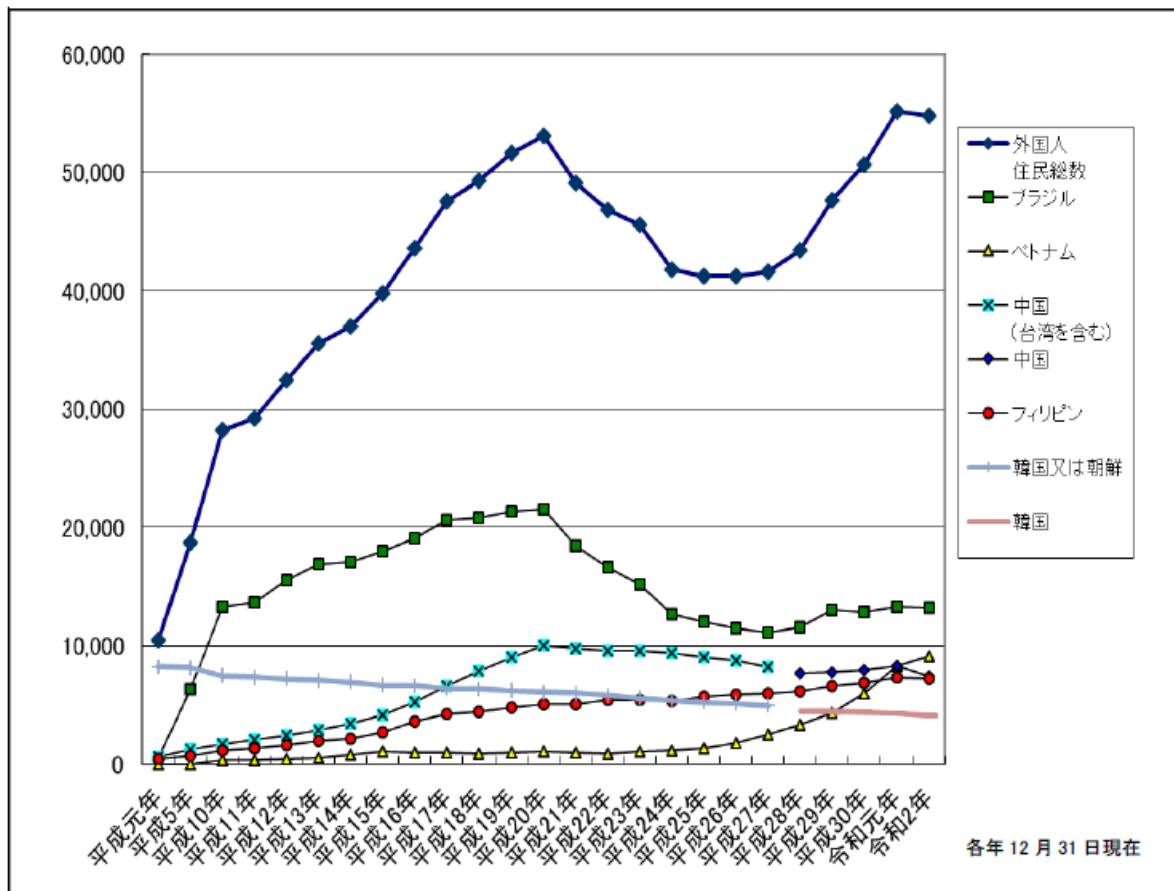
支援講座 … T講座

新体制になり、6年目を迎えます

# 三重県内の外国人住民の状況

(<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000936149.pdf>)

外国人住民数の推移



# 三重県内の外国人住民の状況

(<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000936149.pdf>)

順位	国籍・地域	外国人住民数	構成比	増減数	増減率
1	ブラジル	13,219人	24.1%	-81人	-0.6%
2	ベトナム	9,156人	16.7%	846人	10.2%
3	中国	7,390人	13.5%	-887人	-10.7%
4	フィリピン	7,266人	13.3%	-49人	-0.7%
5	韓国	4,128人	7.5%	-181人	-4.2%
6	ペルー	3,094人	5.6%	41人	1.3%
7	インドネシア	1,871人	3.4%	-6人	-0.3%
8	タイ	1,711人	3.1%	18人	1.1%
9	ネパール	1,476人	2.7%	-35人	-2.3%
10	ボリビア	988人	1.8%	18人	1.9%
	その他	4,555人	8.3%	-38人	-0.8%
	三重県計	54,854人	100.0%	-354人	-0.6%

(注) 平成28年より法務省の統計基準に基づき、中国と台湾、韓国と朝鮮は別々に集計を行っています。

# CLD生徒

**CLD** (Culturally Linguistically Diverse)  
(Cummins, 2003)

「文化的言語的に、多様な背景を持つ生徒」

- 外国籍の生徒 第一言語の種類にかかわらず
- 日本国籍であっても第一言語が日本語ではない生徒



# 簡単に言えば

- 外国籍の生徒
- 日本国籍で日本語が不自由な生徒
- 帰国子女の生徒

# ①CLD生徒の現状

## 1. 日本語能力・学力

- 日本に来たばかりの生徒から、長年日本にいる生徒まで様々な生徒が在籍
- ほとんど日本語が話せない生徒から、日本語での日常会話や授業中の学習言語に問題がない生徒まで様々な生徒が在籍
- 学習言語が不十分な生徒の増加

# ①CLD生徒の現状

## 2. 生活・学習上の困難

- ・ 経済的に困難な生徒も在籍。家族のためにアルバイトをしている生徒や、進学資金を貯めるためにアルバイトをしている生徒がいる
- ・ 日本語能力試験が受験できない
- ・ ダブルリミテッドの生徒の増加

# ①CLD生徒の現状

## 3. 進路

- 大学進学、短大・専門学校進学がそれぞれ30%強、就職が30%弱程度
- 自分の母国に帰る生徒がいる
- 正社員にならずアルバイトを希望する生徒がいる

## ②日本語指導・教科学習支援

### 1. 【専門部署「国際サポート」の設置】

- ・ 人員を配置
- ・ 国際サポート委員会の実施

### 3月に小テストを実施（10分）

→クラス分けの資料とする

### 4月に日本語基礎力テストを実施

→日本語の能力を把握する

→S・T（取り出し）講座の編成  
資料とする

## ②日本語指導・教科学習支援

### 4月に日本語基礎力テスト（50分）

- ・聞き取り問題
- ・知識（文字、語彙、文法）
- ・運用・読解

→日本語基礎力テストの信頼性・妥当性の再検討

→ONLINEでの実施を想定し、TTBJ（筑波日本語テスト集）などを検討

## ②日本語指導・教科学習支援

### 【日本語を学習する授業】

1年生：週2時間                    ※カリキュラム内  
2年生：週3時間                    に入っている  
3年生：週4時間

- ・外国人生徒支援専門員（2名）
- ・日本語指導アドバイザー（1名）
- ・日本語指導等補助員（2名）

によるサポート

国際サポート

# S・T(取り出し) 講座にわかれて学習

## 【1年生の授業】

- ・ T講座（取り出し授業）を4科目実施  
現代文、現代社会、生物基礎、保健
- ・ S・T（取り出し）講座は国籍で分ける  
ことはしません。  
両講座とも、
  - ・ 同じ教科書を使います
  - ・ 同じ内容を学びます
  - ・ 同じテスト問題です



# 日本語学習クラブ（呼称：飯ネイティ部）

今年度から、三重県立飯野高等学校に「日本語クラブ」が開設されました。

# 日本語学習クラブ（呼称：飯ネイティ部）

現在の受講生：1年生（23名）

講師：公益財団法人

三重県国際交流財団が派遣する講師

実施回数：年間30回の予定

時間：放課後（50分）

## 日本語学習クラブ（呼称：飯ネイティ部）

三重県国際交流財団（MIEF）では、「みえこさんのほんご」をはじめとする初期日本語学習教材の開発・発行をしています。これまで、中学校版までは発行されていましたが、2021年に高校生を対象とした教材である「日本語学習で未来を描く～高校生版みえこさんの日本語ワークシート～」が開発・発行。

# これからの課題

- ・ 本校における日本語指導・教科学習指導の確立
- ・ 他校との連携・情報共有の促進  
→ ネットワークづくり
- ・ 短絡的思考からの脱却

ご清聴ありがとうございました